

問 小野加東の焼却炉の大規模改修が突然必要になった場合、加西市の負担はどうなるのか。また、大規模改修するような事態が絶対に起こらないと市長が断言できるのか。



答 小野加東の焼却炉がもつのであれば、できる限り使っていくほうが、お互いのメリットだと考えていますが、大規模改修がいつ起こってもいいように、話し合いをまとめ、将来の構想をしっかりと確認しておくことが必要と考えています。そのため、できるだけ早く4市1町の広域化に向けた協議を始め、1月早々にも協定を結び、4月から事務的な検討を開始していきたいと考えています。

(議決結果)

議案第77号は、賛成5、反対1で可決

議案第80号は、賛成4、反対2で可決

総務委員会

○加西市消防団条例の一部改正（議案第72号）

（主な審議内容）

問 消防団の現状について。

答 平成20年から平成22年に30名の減、平成23年から平成25年の間は、改正後の定員数とほぼ同数の1,410から1,415人の間を推移しており、うち約9%が市外居住者と推測されます。

問 市外居住者が火災時において30分以内に現場へ到着できるのか。

答 市外といっても加西を少し出たところに居住している方がほとんどであり、消防団活動には支障はないものと考えています。また、次年度以降の名簿については、現住所で作成するため、消防団員として支障のない範囲に居住しているという資格要件を満たさない方も出てくると考えられますが、消防団活動には火災を消すことだけではなく、予防消防、防災訓練等の活動もあるため、到着可能時間のみで判断し、意欲のある方を排除することがないよう、柔軟に対応していきたいと考えています。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市立幼稚園の設置及び、管理に関する条例の一部改正（議案第78号）

（主な審議内容）

問 保育料軽減の適用範囲について。

答 幼稚園と幼児園の短時間保育部を適用範囲とし、

対象園児数は150人程度、また、保育所と幼児園の長時間部の対象外園児数は430人程度となります。

意見 対象外となる園児のほうが多く、子育て支援として負担軽減を行うのであれば、対象範囲を拡大する必要があったのではないかと。また、幼児園の体系として、同じような保育内容に対して短時間部、長時間部において料金が異なるのは違和感がある。

(議決結果)

全会一致で可決

○一般会計補正予算（議案第81号）

（主な審議内容）

問 保育所運営システム開発のメリットについて。

答 現在、保育所・幼稚園が個別で受け入れを行っているものを、システム改修により、まず入園受付を統合し、その後、年齢・保育要件によりグループ化し、幼稚園もしくは保育園認可の決定をしていくことで、入園受付、受け入れ決定、保育料の設定、徴収までを幼保一体で事務処理が行えます。

要望 病後児保育施設について、医療機関が開設する、医師、看護師、保育士がいる保育所は、他市に先駆けた施設でもあることから、保護者への周知を十分していただきたい。

(議決結果)

全会一致で可決